

第2学年1組 社会科（地理的分野）学習指導案

平成28年9月15日（木）

授業者 教諭 大竹 一史

1 単元名 「日本の諸地域」 九州地方

2 単元について

（1）教材観

本単元は中学校学習指導要領（社会編）の地理的分野「（2）日本の様々な地域」の「（ウ）日本の諸地域」を受けて構成されている。ここでの学習内容は、日本を幾つかの地域に区分し、自然環境や歴史的背景などの考察の仕方を基にして、地域の特色ある地理的事象を他の事象と有機的に関連づけて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせることである。この九州地方では、自然環境に関する特色ある地理的事象を中核として、環境問題・環境保全の取り組みと関連付けて追及し考察することで九州地方の地域的特色をとらえさせるものである。

（2）生徒観

本学年の生徒（133人）に年度当初に行った5段階評価アンケートでは、「地理が好き」と答えた生徒は77.2%、「地理がわかる」と答えた生徒は73.2%であった。社会科地理的分野に興味を持っている生徒が多く、知識の理解度も高い状況がうかがえる。「授業で好きな展開は何ですか」という問いに、複数選択で答えさせたところ、「資料を読み取って学習課題に迫るもの」、「小グループ（3～4人）で協力して学習課題に迫るもの」などと回答する生徒が多かった。この学年の生徒は、1年生の地理的分野の学習において、知識や概念を学習するとともに、資料の読み取り方や複数の資料を比較すること、関連させること、総合的にまとめることなどから思考を整理する学習に重点的に取り組んできた。生徒はこのような活動的な学習に高い興味・関心を持っている。

（3）指導観

本単元である「日本の諸地域」は、1年生で学んだ資料活用の技能をもとに、小グループで課題解決学習に臨み、意欲的かつ自主的に学習課題の解決に迫れると考えて単元の展開を工夫した。自然環境に関する特色ある地理的事象を中核として、環境問題・環境保全の取り組みと関連付けて追及し考察することで九州地方の地域的特色をとらえさせていく。その際、九州地方を「地質学的な要因」、「気候による要因」、「都市での環境問題」の3つの視点で整理していく。この3つの視点で整理していく理由は、「地質学的な要因」では、火山が多いという特色ある事象を、シラスを活用した農業や温泉などの観光産業、防災対策などと関連づけて地域的特色と結びつけやすいこと。「気候による要因」では、比較的温暖な地域であることや、台風の襲来による多雨などの特色ある事象を、産業や自然災害、防災対策などと関連付けて地域的特色と結びつけやすいこと。「都市での環境問題」では、高度経済成長期の公害や、ヒートアイランド現象など現代の都市問題といった特色ある事象を、歴史的背景や環境問題・環境保全と関連づけて地域的特色と結びつけやすいことである。また、生徒の学習に必要な資料の入手が容易であり、授業準備がしやすいことも理由に挙げられる。

単元の1時間目に学習課題を設定して授業を進めていく。単元計画の1時間目から4時間目までは、毎時間の導入で授業の見通しを示し、本時の課題や授業の進め方を確認する。次に生徒は小グループ（3～4人）で活動し、全ての資料を読み取りながら課題解決を図っていく協調学習（対話的な学習）とした。この手法は、アクティブ・ラーニングの視点における授業改善の1つである。この単元を構成する諸資料を、エキスパート資料としてグループが読み取りを行う。その後のクロストーク活動では、グループ内のすべての生徒の考えが一致しないと、次の段階に進めない仕組みになっている。生徒が学習に使用する全ての

資料の読み取りに、協働的に取り組むものである。この手法は、生徒一人一人が全ての資料を読み取り、全ての資料においてエキスパートとなるため、従来のジグソー法よりも、資料活用の技能や思考力の向上を図ることができる。また、単元の最後の時間にあたる5時間目では、これまでの既習事項を活かして、個人で諸資料の取捨選択を行いながら、多面的に九州地方の特色を考察する学習展開としている。単元を通して協働的に学んできた知識を、個人として振り返ることで学習内容の定着につながると考える。

3 単元の目標と評価規準

(1)単元の目標

九州地方の地域的特色について、自然環境や環境問題に適応した生活や産業などについて関連付けて考察させる。

(2)単元の評価規準 下の指導計画を参照

4 単元の指導計画(5時間扱い) ※5時間目を除き、全て小グループによる協働的な課題解決学習を行う

過程	時間	学習活動・学習内容 ★小学校との系統性	重点を置く評価 の観点				学習活動に即した評価規準 〈評価方法〉テ・テスト 話・授業内での話し合い ワ・ワークシート
			関	思	技	知	
1	1	九州地方の自然環境と歴史との つながり				○	九州地方の都道府県名、山地や平野などの位置 や名称についてわかる。(ワ)
		単元を貫く学習課題 「九州地方はどんな地方と言えるだろうか」					
2	1	九州地方の自然環境と生活	○		○		九州地方の特色を、温暖で多雨である「気候に よる要因」と、火山が多い「地質学的な要因」 とに整理した諸資料の読み取りを通して、人々 の生活の工夫についてとらえさせる。(ワ,話)
3	1	九州地方の産業 ★わたしたちの生活と食料生産(5年) ★わたしたちの生活と工業生産(5年)	○		○		九州地方は火山灰が滞積した土地が多いという 「地質学的な要因」と、温暖であるという「気 候による要因」を生かした農業があること。ま た、工業化による公害の歴史があることについ て諸資料から読み取れる。(ワ・話)
4	1	九州地方の環境に起因する諸問 題 ★わたしたちの生活と環境(5年)	○		○		九州地方に多い台風とそれによる土砂災害や、 都市で起こるヒートアイランド現象などの「都 市での環境問題」から、災害とその対策につい て諸資料から読み取れる。(ワ・話)
5	1	単元のまとめ 九州地方の地域的特色(本時)		○			九州地方の地理的事象を、単元の既習事項を基 に多面的にとらえながら、事象間の関連を有機 的に関連付けて説明できる。(ワ・テ)

5 本時の学習(5／5)

(1) 本時の目標

- 九州地方の地理的事象を「地質学的な要因」、「気候による要因」、「都市の環境問題」の3つの視点から根拠となる資料を取捨選択し、関連付けながら説明できる。(思考)

(2) 本時の展開 (1 時間扱い)

学習活動・学習内容	・評価と指導上の工夫 ◎言語活動の充実 □評価の観点
1 本時の取り組み方を確認する。 2 本時の学習課題を確認する。	・これまでの小グループによる協働的な活動と異なり、本時は個人による課題解決を目指す授業であることを説明する。 ・単元のまとめとして、単元をつらぬく学習課題を考える授業であることを説明する。
学習課題：九州地方は自然環境の特色を環境問題と関連付けると、どんな地方といえるだろうか	
3 諸資料を、九州地方の地理的事象である「地質学的な要因」「気候による要因」「都市の環境問題」の 3 つの視点で整理する。 4 3 つの視点から自身の考える九州地方の地理的事象を、根拠となる資料を一つの視点につき 1～2 点選択して切り貼りし、ワークシートに読みとれることを記述する。また、各視点で選んだ資料を結ぶキーワードを考える。 5 まとめとして、本時までの学習を基に、九州地方がどんな地方といえるのか記述する。 6 本時と本単元の学習を振り返る。 単元のまとめの例 九州地方は火山やそれによる降灰、シラス台地などの地質学的要因、台風による多雨などの気候による要因、それらに基づく都市の浸水などの都市の環境問題を抱えている。しかし、それらの被害を減らす生活の工夫や地理的な特色を生かす生活の工夫を行いながら自然環境や環境問題と共存している。 7 今日の家庭学習の内容を聞く。	・小グループによる諸資料の読解作業で使用した資料を整理する。 ・地理的事象の捉え方や資料選択の考え方を机間指導する。 □九州地方の地理的事象を地質学的な要因、気象の要因、都市の環境問題の 3 つの視点から根拠となる資料を取捨選択し、関連付けながらキーワードとともに説明できる。(思) ・本時の学習で記述した内容が設定された視点に基づくまとめになっているか個別に指導する。 ◎まとめとして 3 つの視点による整理を基に、総合的に九州地方の地域的特色を記述するように指導する。 ・単元のまとめとして、インプットした内容を整理してアウトプットさせる。 ・自分とは異なる見方で九州地方をとらえた他者のワークシートを小グループで見せ合うことで、個人でのまとめよりも多面的に九州地方をとらえさせる。 ・本時で生徒が使用しなかった資料は、家庭学習で使用させる。その際にも、3 つの視点で資料を選択し、授業と異なる説明をノートに行うよう指示をする。

(3) 板書計画

学習課題：九州地方は自然環境の特色を環境問題と関連付けると、どんな地方といえるだろうか

九州地方のまとめをしよう

・考える視点

地質学的要因

気候の要因

都市の環境問題

}

地理的事象を表すキーワード

=

問題点を表す資料 1～2 点

+

問題点の解決方法や利用方法 1～2 点

九州地方とはどんな地方といえるだろう

九州地方のようすを見てみよう

九州地方 No1

2年 組 番 氏名 _____



※1

_____の合戦地
_____時代

○は人口 30 万人以上の都市
人口 50 万人以上なら青で
人口 100 万人以上なら赤で
塗ってみよう

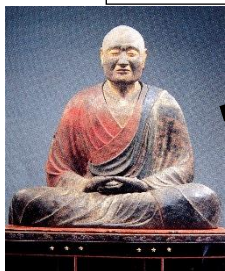
△は山。死火山、休火山なら
黒で、活火山なら赤で塗ろう



※2

長崎の _____
_____時代

イラストの場所
を→でつなごう



※3

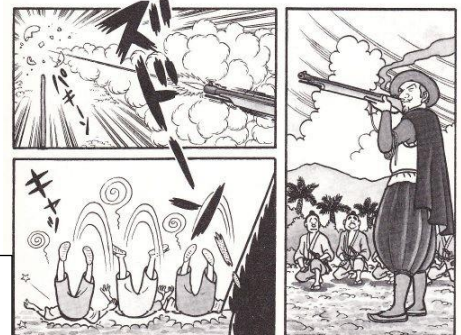
_____の上陸地
_____時代



※4

_____の上陸地
_____時代

_____伝来の地
_____時代



小学館「学習まんが 日本の歴史」より

Q1 九州地方に火山が多いのに人々が多く生活しているのはなぜだろう

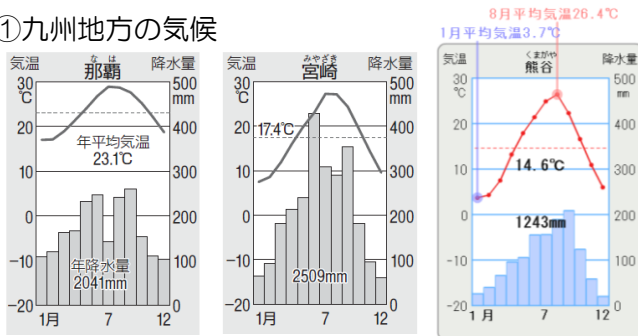
Q2 九州地方に歴史的に海外とのつながりが多いのはなぜだろう

九州地方の自然環境と人々の生活

九州地方 No2

2年 組 番 氏名

①九州地方の気候



Q九州地方の気候はどのような特徴をもつのだろう

- ・気温を熊谷と南西諸島的那覇を比べると

気温を熊谷と九州の宮崎を比べると

- ・降水量を熊谷と南西諸島的那覇を比べると

降水量を熊谷と九州の宮崎を比べると

③九州地方に多い火山と生きるということ



① 鹿児島市の市街地から見た桜島(御岳)
左下は爆発的噴火(2013年)の様子です。



⑤ 霧島山(新燃岳)の降灰による農作物への被害(宮崎県都城市 2011年)



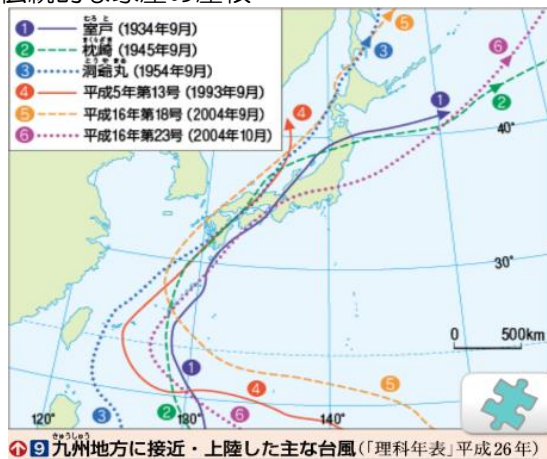
⑥ 温泉を利用した湯けむり発電 温泉から出る高温の水蒸気で発電用のタービンを回しています。(大分県別府市 2013年)



⑦ 砂蒸し温泉 温泉で加熱された砂をかけてもらい、全身を温めます。(鹿児島県指宿市 2012年)

- ・困ることは…

②沖縄の伝統的な家屋の屋根



⑧ 九州地方に接近・上陸した主な台風(「理科年表」平成26年)



←屋根瓦を漆喰(しっくい)で固める職人(沖縄)

白い部分が漆喰、黒い部分が沖縄赤瓦

Q 沖縄の伝統的な家屋ではどんな工夫がされているのだろう

※1

- ・一方で良いことは…

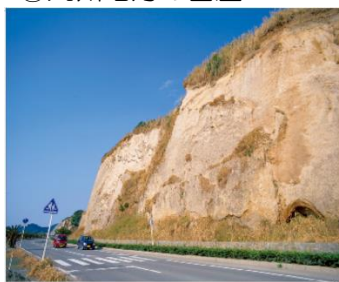
④この時間のまとめ(この時間の学習を全て活かして)
Q、九州地方で自然と向き合って生きるということはどういうことだろうか

九州地方の産業はどのような特徴をもっているのだろう

九州地方 No3

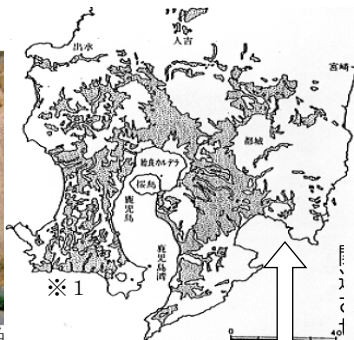
2年 組 番 氏名

①九州地方の畜産



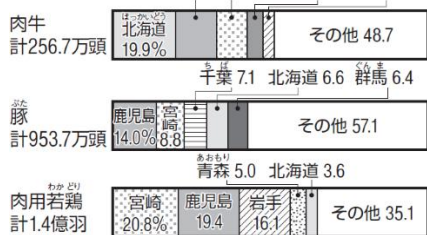
4 ④ シラス台地に見られるがけ(鹿児島県白置市)

シラス(白砂)台地は火山の噴火によって降り積もった火山灰の地層。細かい小さな気泡を含む土砂で、**水を含むともろくなる**。シラスは水はけがよすぎるため**水田には向かない**。



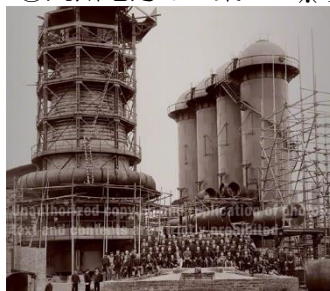
シラス台地の分布図

[2014年]



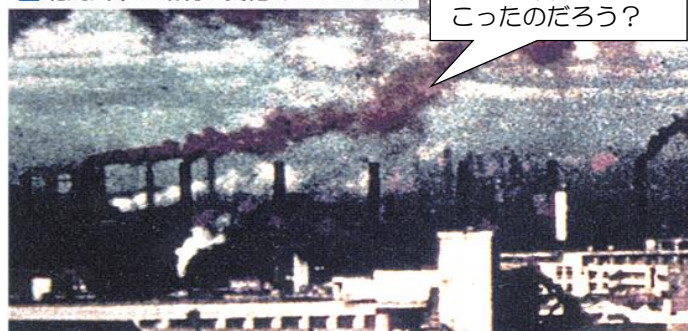
Q九州地方の畜産について資料から読み取れることをもとにまとめよう キーワード【シラス、畜産、南九州】

③九州地方の工業 ※4



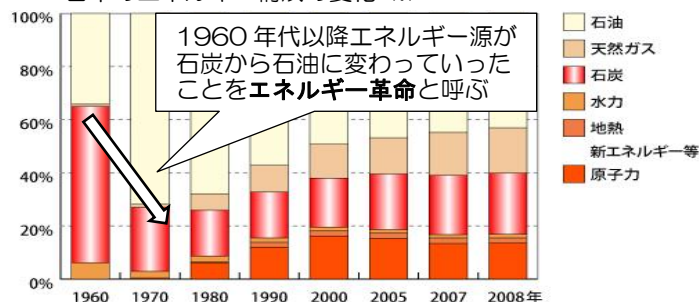
福岡県に日本初の本格的な製鉄所として官営八幡製鉄所が建設された(1901年操業開始)。九州地方北部に多くあった炭鉱からとれる石炭と、中国から輸入された鉄鉱石を利用して鉄鋼生産を行い、日本の産業を支えた。北九州工業地域の中心となっていた工場。

1 北九州市の環境の変化(1960年代)



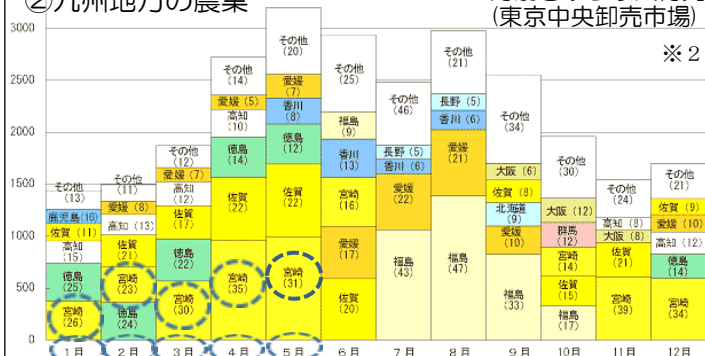
どんな環境問題が起こったのだろう?

日本のエネルギー構成の変化 ※5



②九州地方の農業

月別きゅうり入荷先(東京中央卸売市場) ※2

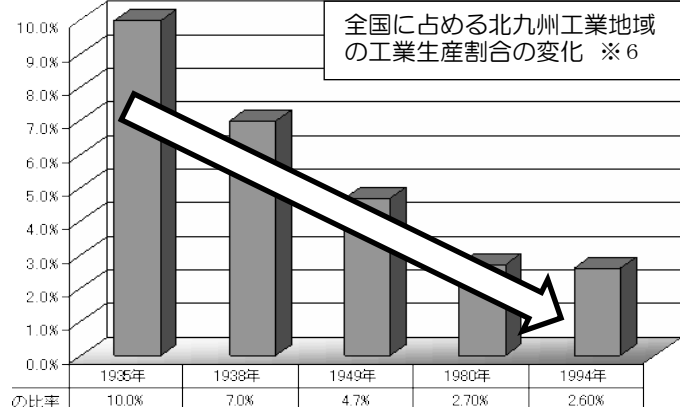


宮崎平野のビニールハウス群

野菜の生産量 ※3



Q宮崎をはじめ九州地方で野菜作りが盛んなのはなぜだろう
キーワード【促成栽培、温暖な気候】



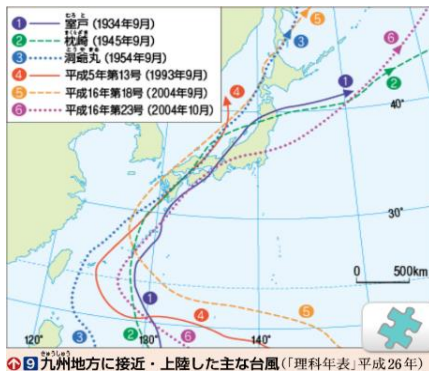
Q九州地方の工業はどのように歴史の変化をたどりながら、どのような問題を生んだのだろう
キーワード【環境問題、エネルギー革命】
※ヒント…環境問題とエネルギー革命は別物として考えよう

九州地方にはどのような環境に関する問題があるのだろう

九州地方 No4

2年 組 番 氏名

①九州に多く見られる土砂災害 ※1



③土砂の流出を防ぐ砂防ダム 砂防ダムにより、下流にある住宅への被害が食い止められています。(熊本県美里町 2007年)



Q九州地方で土砂災害が多い理由は何だろう。またその対策としてどんなことをしているだろう。資料から読み取れることをもとにまとめよう。
キーワード
【 降水量 、 シラス 】

③九州地方の都市部で起こる災害

博多駅周辺の浸水(福岡市)



山村や田園地帯では滅多に起こらない浸水被害がなぜ都市部だと起きやすいのだろう

何のために造られた施設だろう

公園の地下に造られた調整池(福岡市)



Q九州地方の都市部で起こりやすい災害はどんな理由で起こるのだろう。またその対策としてどんなことをしているだろう。資料から読み取れることをもとにまとめよう。

②沖縄の環境における課題

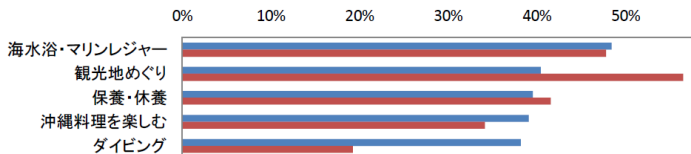
沖縄のサンゴ礁 ※2



赤土が流出した海(宜野湾)



沖縄旅行で行った活動(沖縄観光統計実態調査) ※3



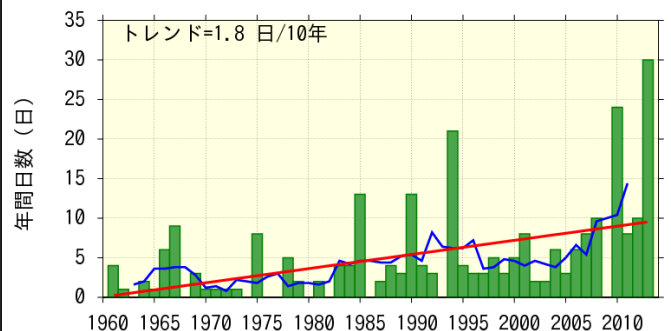
土壌の流出を防ぐ障壁(石垣島)



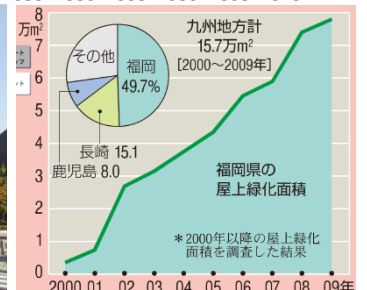
Q南西諸島の沖縄では環境に関してどのような問題が起こっているのだろう。またその対策としてどんなことをしているだろう。資料から読み取れることをもとにまとめよう。
キーワード
【 観光、赤土流出 】

④ヒートアイランド現象 ※4

福岡 猛暑日数



福岡市に見られる屋上緑化(福岡県 2009年)



Q九州地方の都市部で起こっているヒートアイランド現象とはどんな現象だろう。またその対策としてどんなことをしているだろう。資料から読み取れることをもとにまとめよう。

九州地方
No5

九州地方のまとめ～環境の問題と向き合う人々～

問題点 資料から読みとれることを書こう		問題の解決方法や利用方法 資料から読みとれることを書こう	
キーワード			
地質学的な要因			
気候の要因			
都市の環境問題			

まとめ 九州地方はどんな特徴を持ったところだといえますか？学習した言葉を使ってまとめましょう。

九州地方 九州地方の自然環境の特色を環境問題と関連付けると、どんな地方といえるだろう？あなたの考える九州地方
No5 の地理的特色を説明するために、必要な資料を**選択**して切り離し、**組み合わせ**、ワークシートに**まとめよう**。



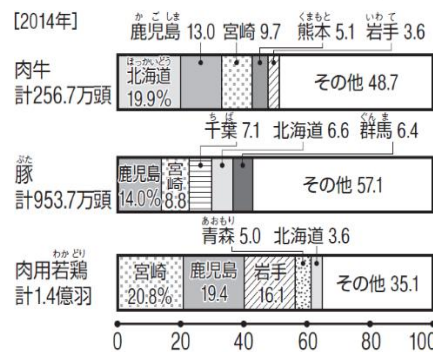
❶ 霧島山(新燃岳)の降灰による農作物への被害(宮崎県都城市 2011年)



❷ 温泉を利用した湯けむり発電 温泉から出る高温の水蒸気で発電用のタービンを回しています。(大分県別府市 2013年)



❸ 砂蒸し温泉 温泉で加熱された砂をかけてもらい、全身を温めます。(鹿児島県指宿市 2012年)



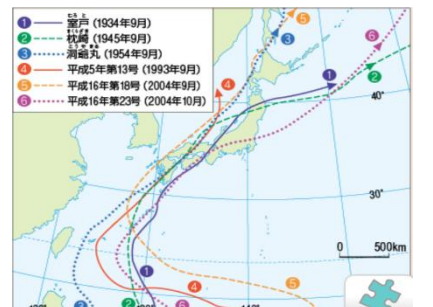
宮崎平野のビニールハウス



❹ 鹿児島市の市街地から見た桜島(桜島) 左下は爆発的噴火(2013年)の様子です。(鹿児島市)



❺ シラス台地に見られるかけ(鹿児島県日置市)



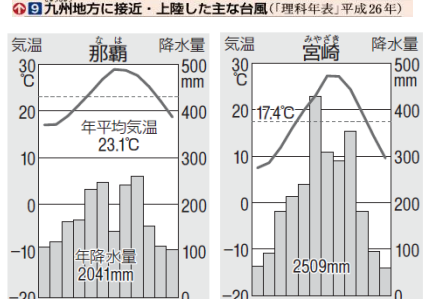
九州道で土砂崩れ 大野城 1人生き埋め



❻ 土砂の流出を防ぐ砂防ダム 砂防ダムにより、下流にある住宅への被害が食い止められています。(熊本県美里町 2007年)



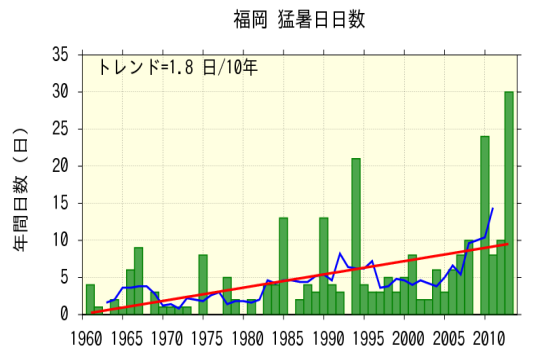
❼ 土砂の流出を防ぐ工夫(沖縄県石垣市)



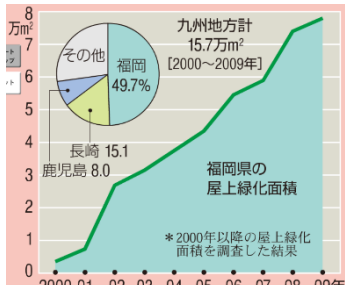
❶ 福岡市内に見られる屋上緑化(福岡県 2009年)



❷ 山王雨水調整池 公園のグラウンドの地下に整備されました。(福岡市 2009年)



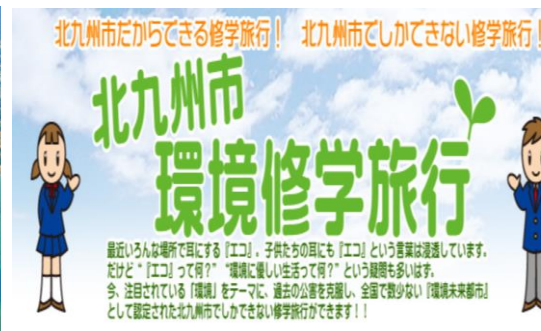
❸ 博多駅周辺の浸水(福岡市 2003年)



❹ 北九州市の環境の変化(1960年代)



❶ 赤土が堆積した海(沖縄県宮古島 2009年)



北九州市だからできる修学旅行! 北九州市でしかできない修学旅行!

北九州市 環境修学旅行

最近いろいろな場所で見られる「エコ」。子供たちの目にも「エコ」という言葉は浸透しています。ただ「エコ」って何? 「環境に優しい生活って何?」という疑問も多いはず。今、注目されている「環境」をテーマに、過去の公害を克復し、全道で数少ない「環境未来都市」として認定された北九州市でしかできない修学旅行ができます!!

